

北海道津軽海峡海域 藻場ビジョン

実効性のある効率的な藻場の保全・創造に向けた行動計画

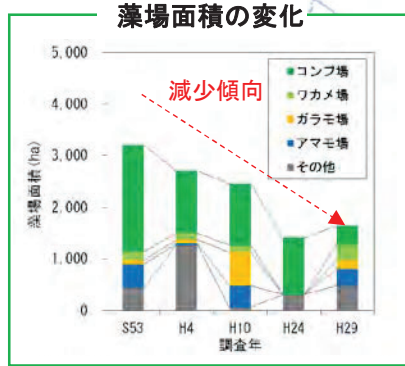


北海道津軽海峡海域

【藻場の保全・創造に向けた対策実施箇所及び対策内容】

水産有用種であるコンブ場、ソイ類・アイナメ等の稚魚の隠れ場や餌場等の創出のため、嵩上げ礁等により、令和13年度までコンブ類やホンダワラ類等を対象とした24.67haの藻場を造成、ウニ類の食圧を抑制する密度管理、海藻のタネ供給のためのコンブ類の母藻設置等を実施することにより、809.9haの藻場を保全し、また、ドローンによる画像解析などの新技術の開発により効率的な藻場の管理を行い、計1,421haの藻場の造成・維持を目標とする。

藻場の衰退要因に応じたハード・ソフト対策



藻場の衰退要因

ウニの食圧過剰
ウニの生息密度が高い摂餌限界水深以浅に藻場形成

海藻のタネ不足
汀線付近のごく浅い水深帯のみに藻場形成

基質不足
海藻草類の着生に適した安定した基質が不足

藻場の衰退要因

- ウニの食圧過剰
- ウニの食圧過剰+海藻のタネ不足
- 基質不足
- 藻場

藻場分布

- 平成4年度(点線)
- 平成10年度(破線)
- 平成24年度(実線)

- コンブ場
- ワカメ場
- ガラモ場
- アマモ場
- その他

- #### 底質
- 岩盤
 - 礫
 - 中～粗砂
 - 細砂
 - 泥



対策の検討・実施体制及び対策内容

